

9月5日（木）

上海国際博覧会跡地視察

周國榮 上海市人民政府外事弁公室アジア大洋州処 副処長の案内により上海国際博覧会跡地（ベストシティ実践区跡地）の視察を行った。

2010上海万博開催前、会場の敷地は工業団地であった。開催前は発電所や機械製造所などがあったが、上海万博の会場の一部として、世界各都市の都市開発における良案件をPRするためのベストシティ実践区となった。万博開催後は、環境保全をテーマとして各国の展示館を再利用しているほか、一部は新しく建物を追加している。企業が再利用しているケースもあり、例えばマドリッドの出した展示館にあつては、建物をそのまま利用して中国中央銀行の業務センターとして活用している。

一方で新しく建造した建物も混在しているが、これらも企業に対してビジネス施設を提供するためのものである。

また、ベストシティ実践区には公園が併設されており、その園内のせせらぎに使用されている水は全て雨水の再利用である。

なお、現在この区域は基本的にオープンの場合であるが、原則上、自動車は走行できない。周辺の駐車ニーズに対応するために、現在、地下駐車場を建設しているとのことであった。



ベストシティ実践区跡地の視察

ベストシティ実践区跡地を視察した後、世博会博物館に向かった。世博会博物館は2017年5月に開設された万博の歴史などを紹介する施設であり、建設費は約100億円、上海万博の収益を財源として上海市が運営する、B I E（博覧会国際事務局）世界唯一の博物館/資料館である。ここでは周副処長より上海万博跡地の概要や上海万博の説明を聴取した。

【上海万博跡地の説明要旨】

- ・万博の跡地利用の理念としては、複合的な機能を有し、文化デザインに優れた低炭

- 素、二酸化炭素の減少に貢献できるようなクリーンなエリアにしたいと考えている。
- ・一本の道を挟んで北と南のエリアに分けているが、北は静かなオフィス街、南は市民にとって賑やかなエリアにしたいと考えており、全体の割合でいうとビジネス施設は25～30%、文化娯楽施設は25～30%、オフィスは50%くらいと考えている。万博の理念を持ちながら上海の特色があるエリアにしたい。
 - ・主に都市デザイン・設計、金融サービス、健康関連、文化デザインなどの企業が入っている。
 - ・南エリアには様々なイベント施設、文化施設、デザイン施設、企業、ハイエンドなホテルも建っている。また、会社が自ら管理している一つの展示会場があり、ハイレベルなブランドの商品発表会等の会場として利用してもらっている。
 - ・北側には新しく建物を建設中で、今年の年末には完工する予定である。完成したら5万平米の床面積増加となる。グリーン認証のひとつ、LEEDの最高認証を得ているので、優秀な企業に入ってもらえたらと思っている。
 - ・万博跡地の全体計画は上海市が実施しており、万博開催当時から広い道路を整備するなど、万博後を見越した計画にしている。
 - ・エネルギーの提供についてもソーラー電池、太陽光や川の水の温度と空気の温度の差を利用した川水地熱利用の電気供給など色々工夫をしている。これらのエネルギーを利用してエリア内のクーラーを動かしている。
 - ・グリーン、低炭素以外のテーマとして、最近は健康を重要視するようになった。
 - ・展示ホール等を利用して上海の非物質的文化遗产等も展示している。



説明を受ける代表团

上海市人民代表大会表敬訪問

上海瑞金洲際酒店（上海インターコンチネンタルホテル瑞金）にて、蔡威 上海市人民代表大会副主任を表敬訪問した。

まず、蔡副主任より挨拶があり、続いて広田議長が挨拶を行った。

【蔡副主任挨拶要旨】

上海市と大阪市の友好都市提携45周年をお祝いするとともに、今年6月にG20が大阪で成功裏に開催されたことを祝いたい。G20では、我が国の習近平主席と安倍首相が会談を行い、両国の新しい時代に向けた交流について合意できたことも嬉しく思う。

また、両国の合意と同様に中国と日本の両国は、文化はもとより、経済、貿易等、様々な部門において交流点があるが、世界第2位と第3位の経済国として、お互いに協力しながら進めていくべきだと考えている。その中でも上海と大阪は、中国と日本のなかでも重要な経済都市である。このような二つの都市であるからこそ、様々な分野において友好交流ができると考えている。経済、貿易だけでなく文化面もお互い交流し、特に経験と教訓をともに分かち合うことが非常に大切だと感じている。そのなかでも発展の速さ、時代の速さとスピードの速さについては、上海の方から大阪に色々提供すべきだと考えている。何よりもたくさんの交流を通じて、友好関係を深めていきたい。

【広田議長挨拶要旨】

蔡威副主任と、本日お会いできることを大変嬉しく思うとともに、大変忙しい中、貴重な時間をいただき、深く感謝している。今回、大阪市を代表して、貴市人民代表大会を訪問できたことを大変光栄に思う。また、皆様方と交流を深める機会を得たことは、この上ない喜びである。

大阪市と上海市は、これまで学術交流やスポーツなど多くの分野で交流を深めてきた。そして、めでたく45周年という記念すべき年を迎えることができた。これも、上海市人民代表大会の皆様方をはじめ、上海市民、関係者の皆様方のご尽力の賜物であり、心から感謝申し上げます。

大阪では2025年万国博覧会の開催が決定した。多くの上海市民のご来阪を期待するとともに、この世界的なイベントに併せ、様々な交流事業を盛り上げることにより、友好都市としての絆の強さを世界にアピールできれば素晴らしいと考えている。



蔡副主任との意見交換

双方の挨拶が終わった後、意見交換を行った。

【意見交換要旨】

〔蔡副主任〕

- ・上海市と大阪市は議会と人民代表大会間、市民間の交流でしっかりと絆をつくってきたが、これからも双方の努力でさらに固めていきたい。
- ・上海市民は2400万人いる。人数面でも大阪万博を応援していきたい。
- ・国全体の戦略的發展で、上海の位置付けは、金融、貿易、港のセンターになることを要求されているが、その中でも大阪のような先進的な技術理念を持つまちと交流していきたいと思っている。ぜひ色々な良いアイデアがほしい。

〔広田議長〕

- ・万博のテーマが健康長寿であるので、ぜひお知恵を貸していただきたい。

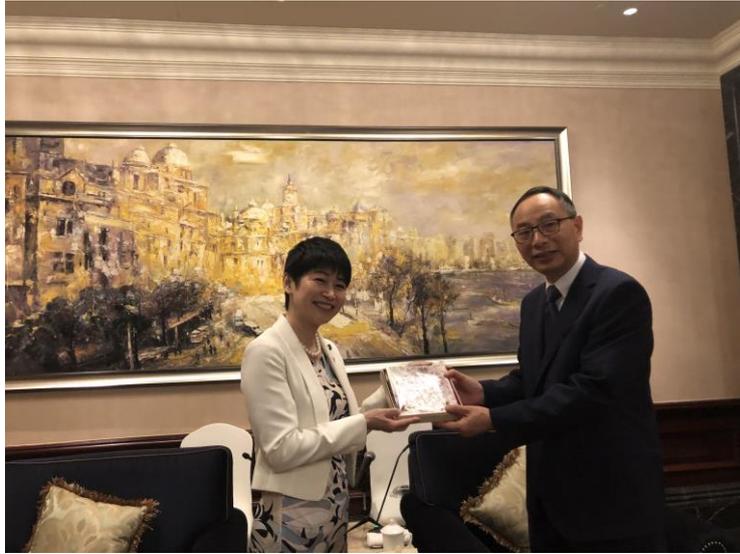
〔蔡副主任〕

- ・私が知っている限り日本は世界で最も長寿国である。日本でいう県、省レベルで上海の中で最も長寿のまちは平均83.36歳である。日本では全国平均がその年齢まで達しているため、素晴らしいと思う。
- ・老人介護など、高齢社会対応といった分野は日本には優れた企業がたくさんあることを知っているため、これからも色々紹介してほしい。
- ・上海に常住している日本人は5万人を超えている。学校、企業に勤める方々が活躍されている。これから上海がどんどん発展していく中で、もっと日本の方々をお迎えしていきたい。中国はさらにオープンな国になりたいので、上海がその窓口になりたい。その関連で今年の12月にも博覧会を開催予定している。

〔広田議長〕

- ・今回上海を初めて訪れたが、驚いたのがまち全体が大きくて広くて緑が多いことであり、素晴らしい都市であると感じた。
- ・これからは上海市のみなさんに教えてもらうことが大変多いと思う。
- ・上海市は發展のスピードがとても速く、見習うべき点が多くある。これからもぜひ友好都市として上海市と交流を深めてまいりたい。

意見交換が終わった後、記念品交換および記念撮影を行った。その後、会場を移して昼食をとりながら、ごみ問題、電柱の地中化、上海市人民代表大会のしくみ、交通の民営化などについて、引き続き意見交換を行った。



蔡副主任と記念品交換

大阪・上海友好都市提携45周年記念大阪プロモーションセミナー 及びネットワーキングレセプション

大阪・上海友好都市提携45周年を記念した大阪市、大阪市会、上海市外国投資促進中心主催の大阪プロモーションセミナーに出席した。

「大阪の魅力ある投資環境とスタートアップ企業」をテーマとしたセミナーで、冒頭に高橋副市長から挨拶があり、続いて広田議長が挨拶を行った。その後、張国華 上海市商務委員会総経済師、中澤義晴 J E T R O 上海事務所次長がそれぞれ挨拶を行った後、高橋副市長によるプレゼンテーション「大阪市の都市魅力とビジネス環境について」が行われた。在上海企業及び上海市の行政関係者に対して大阪市の都市魅力と投資環境をプロモーションするとともに、大阪のスタートアップ企業を紹介し、あわせて2020年2月開催予定のHACK OSAKA2020への参加呼びかけや大阪・関西万博への来場を呼びかけた。

場内は、上海の企業や行政関係者を中心に150名程度の参加者で溢れかえっており、プレゼンテーションに聞き入りながら熱心にメモを取られる方々の姿が多く見受けられた。高橋副市長のプレゼンテーションの終了後は、投資関連会社や大阪に進出した上海企業から、大阪の投資環境・誘致サービスや成功事例などのプレゼンテーションが行われ、続いて、大阪のスタートアップ企業の取組みをテーマとして、大阪商工会議所をはじめ、スタートアップ企業4社からプレゼンテーションが行われた。

【高橋副市長挨拶要旨】

本セミナーに参加いただき、感謝申し上げます。また、上海市商務委員会華主任、上

海市海外外国投資促進中心をはじめ、セミナーの開催にあたりご支援をいただいた皆様にはこの場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

大阪市と上海市は、1974年に友好都市提携を結んで以来、友好港・ビジネスパートナー都市提携等と友好協力関係を重ねるとともに、現地に大阪府市で上海事務所を設置するなど、様々な分野で官民一体となり交流を積み重ね、本年提携45周年を迎えた。この記念すべき年に市会代表团とともに上海市を訪問し、本セミナーを開催できることを大変喜ばしく思う。

本セミナーでは、近年、大阪と上海の都市間で人の往来やビジネスが盛んとなっていることから、大阪の魅力あるビジネス環境やスタートアップ企業の取組を紹介し、大阪と上海の経済交流促進を図りたいと思う。

本日、ご講演いただく皆様にも、改めまして、御礼申し上げます。大阪に進出した成功事例など貴重なお話を聞かせていただけるのを大変楽しみにしている。

ご存じのように、2025年の日本万国博覧会の開催地が大阪・関西に決定した。大阪・関西での万博は、人類が抱える未来社会の課題に解決策を示し、いのち輝く未来社会をデザインできる万博と確信している。万博の開催時には、ぜひ上海市からも多くの方にお越しいただきたいと思う。

最後に、本日このセミナーを機に、今後の大阪と上海との交流が一層進むことを祈念するとともに、ご臨席の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申しあげ、私からのご挨拶とさせていただきます。

【広田議長挨拶要旨】

本日はお忙しい中、大阪プロモーションセミナーにご参加いただき感謝申し上げます。本年は、大阪市と上海市友好都市提携を結んでから45周年の記念すべき年である。その記念すべき年に、上海市を訪問できたことを大変光栄に思う。そして、本日このようにたくさんの方にお越しいただくことができ、心よりうれしく思う。

お集まりいただいた皆様には、この機会に是非、交流を深めていただき、上海市と大阪市における関係強化、ビジネス交流の促進などにつなげていただきたいと思う。

また、大阪においては、2025年万国博覧会の開催が決定した。「いのち輝く未来社会のデザイン」をコンセプトに、世界の英知を結集し、さまざま分野に新たなイノベーションをもたらすことが期待されているところである。ぜひ、皆様には大阪にお越しいただき、活力あふれるその姿を目の当たりにしていただきたいと思う。

最後に、上海と大阪の交流がより一層深まるよう、また本日お集まりの皆様のご健勝・ご活躍を心から祈念して、私からのご挨拶とさせていただきます。



挨拶する広田議長



高橋副市長によるプレゼンテーション

セミナー終了後、上海市関係者やセミナー参加者を対象に、大阪市と上海市のネットワーク形成を促進するための場として、同会場内にて大阪市・大阪市会主催のネットワーキングレセプションが開催された。

市代表団、市会代表団ともに、セミナー参加者である在上海企業や上海市行政関係者、上海市商務委員会と名刺交換や意見交換を行い、幅広いネットワークを構築するとともに、交流を深めることができた。

また、セミナーにてプレゼンテーションを行った大阪のスタートアップ企業の技術を体験するスペースも設けられ、150名近くの人で賑わった。



ネットワーキングレセプションで挨拶する市会代表団